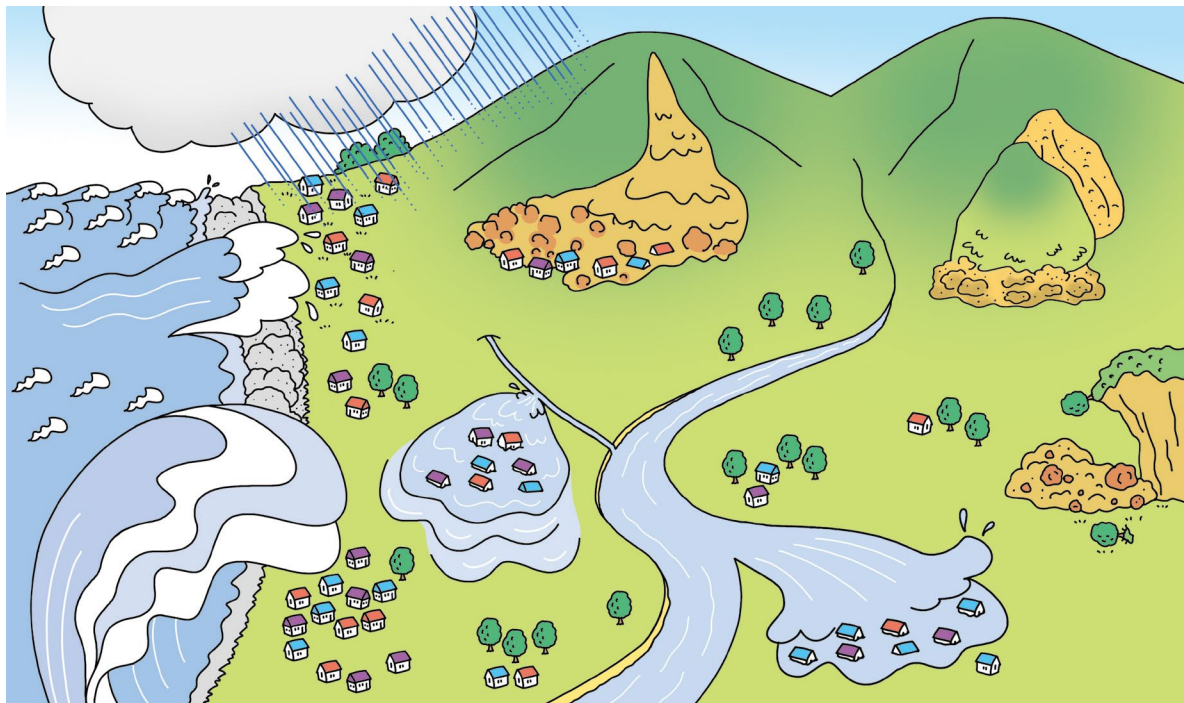


近年、世界中でさまざまな自然災害が発生しています。私たちの生活に大きな影響を及ぼす自然災害ですが、日ごろから災害時の対応を考えて住まい方を工夫することで、被害を軽減することができます。今、自分たちができることを考え、生活の中に活かしましょう。

1 天災は、忘れたときにやってくる？ (いろいろな自然災害)

考えてみよう 大雨や豪雨、強風や竜巻、地震などによって、どのようなことが起こるか、具体的にあげてみよう。



(1) 大雨・豪雨

(2) 強風・竜巻

(3) 地震

2 備えあれば憂いなし！ (自然災害への備え)

災害の怖さを知り、災害後の状況をイメージして、備えの大切さに気づくことが防災の第一歩です。

考えてみよう あなたの家では、実際にどのような自然災害の備えをしているだろうか。

(1) ハザードマップを活用しよう

自治体では、「ハザードマップ」を作成しています。これらのマップでは、災害により地域で予測される被害の範囲やその()、災害時の()、避難経路などをわかりやすく地図上に示しています。

ハザードマップなどを活用し、自分たちが住んでいる地域の特性を把握して、万に備えましょう。



【ハザードマップの活用】

- ・国土交通省 ハザードマップポータルサイト ~身のまわりの災害リスクを調べる~
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
- ・日本損害保険協会 動画で学ぼう！ ハザードマップ
<https://www.sonpo.or.jp/about/useful/hazardmap/index.html>

(2) 風水害に備えよう

考えてみよう 風水害における家の中の安全対策として、事前にどのようなことができるだろうか。

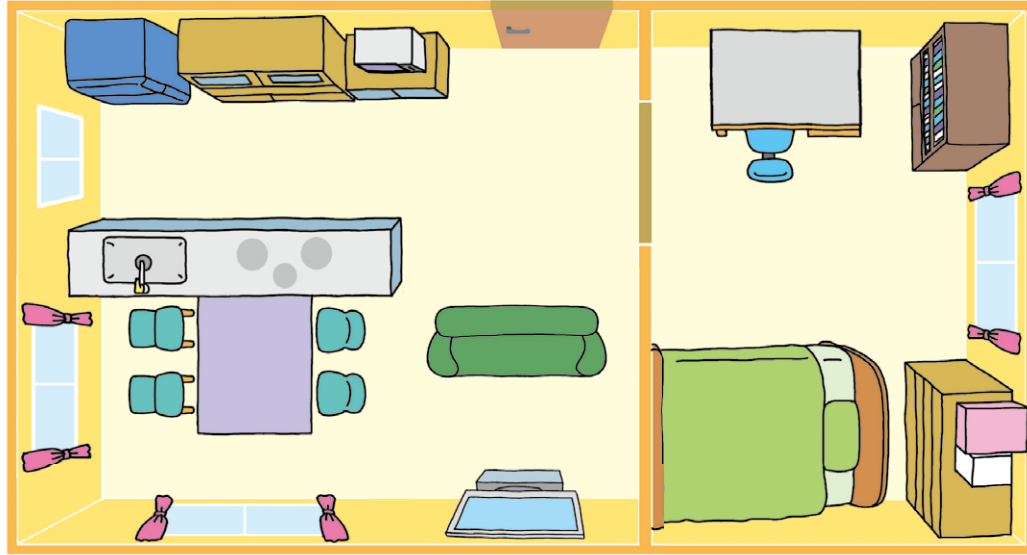
ハザードマップから、河川がはん^{らん}した場合に浸水が予想される地域や程度、土砂災害が発生する危険性のある地域などがわかるので、防災気象情報などと合わせ、早めの避難行動に役立てましょう。

「避難して損をした」ではなく、「避難したけれど何事も無くてよかった」と思うことが大切です。

(3) 地震に備えよう

ハザードマップから、その地域にもたらされる揺れの大きさや揺れ方の様子などがわかります。その地域で起こりうる被害を確認しておき、万一の地震被害に備えましょう。

考えてみよう 地震における家の中の安全対策として、どのようなことができるだろうか。



■ 家具の転倒やガラスの飛散を防ぐための工夫

■ 家具の配置の確認

■ 避難経路の確保

■ その他（外出時の安全対策など）

(4) 家族で防災会議をしよう

災害が発生した場合に備えて、家族の役割分担、避難場所や避難方法、別々になった場合の連絡方法などについて、家族で話し合っておくことが大切です。また、備蓄品や非常持ち出し品の置き場所、賞味期限の確認なども行いましょう。

考えてみよう 災害時の家族の役割分担には、火の始末や初期消火の他、どのようなことがあるだろうか。また、どのようなものを備蓄しておくといいだろうか。

■ 家族の役割分担

■ 備蓄しておくといいもの

3 自然災害への経済的な備え（すまいの保険を中心として）

自然災害への経済的な備えには、（ ）と（ ）があります。

保険は、みんなでお金を出し合い、誰かが事故や災害にあったときは、その出し合ったお金で補償するしくみです。保険には、大きく分けて、人に関わる「生命保険」と、物に関わる「損害保険」とがあります。

自然災害による住まいの損害には、このうち、（ ）で備えることができます。

まとめ 災害に備えて、これからどのようなことができるか、具体的に考えてみよう。

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------|
| ①今日の授業は内容に関心をもった。 | そう思う（ 5 4 3 2 1 ） | そう思わない |
| ②今日の授業は気づきや学びがあった。 | そう思う（ 5 4 3 2 1 ） | そう思わない |